

# 東京都市計画道路放射第25号線 (新宿区新宿七丁目 ～原町三丁目)

令和6年6月28日(金)  
建設局 道路建設部

# 目次

1.	事業概要	.....	1
2.	社会経済情勢等の変化	.....	5
3.	事業の投資効果	.....	6
4.	事業の進捗状況	.....	10
5.	事業の進捗の見込み	.....	11
6.	コスト縮減等	.....	12
7.	対応方針(原案)	.....	13

# 1. 事業概要(1)

## [全体概要]

路線名:放射第25号線

区 間:新宿区新宿七丁目  
~文京区本郷二丁目

延 長:約4.7km

## [今回評価区間]

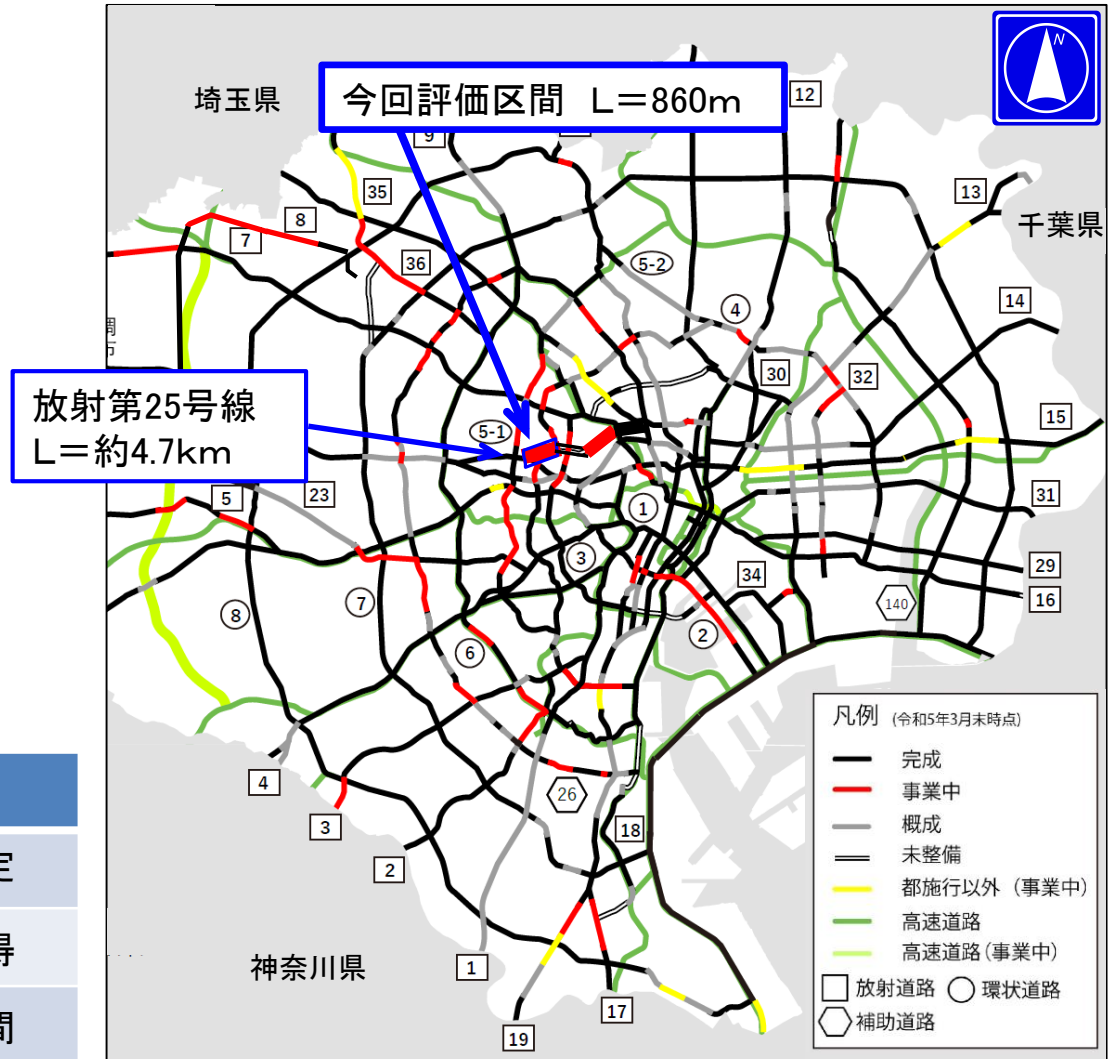
区 間:新宿区新宿七丁目  
~原町三丁目

延 長:860m

幅 員:30m(4車線)

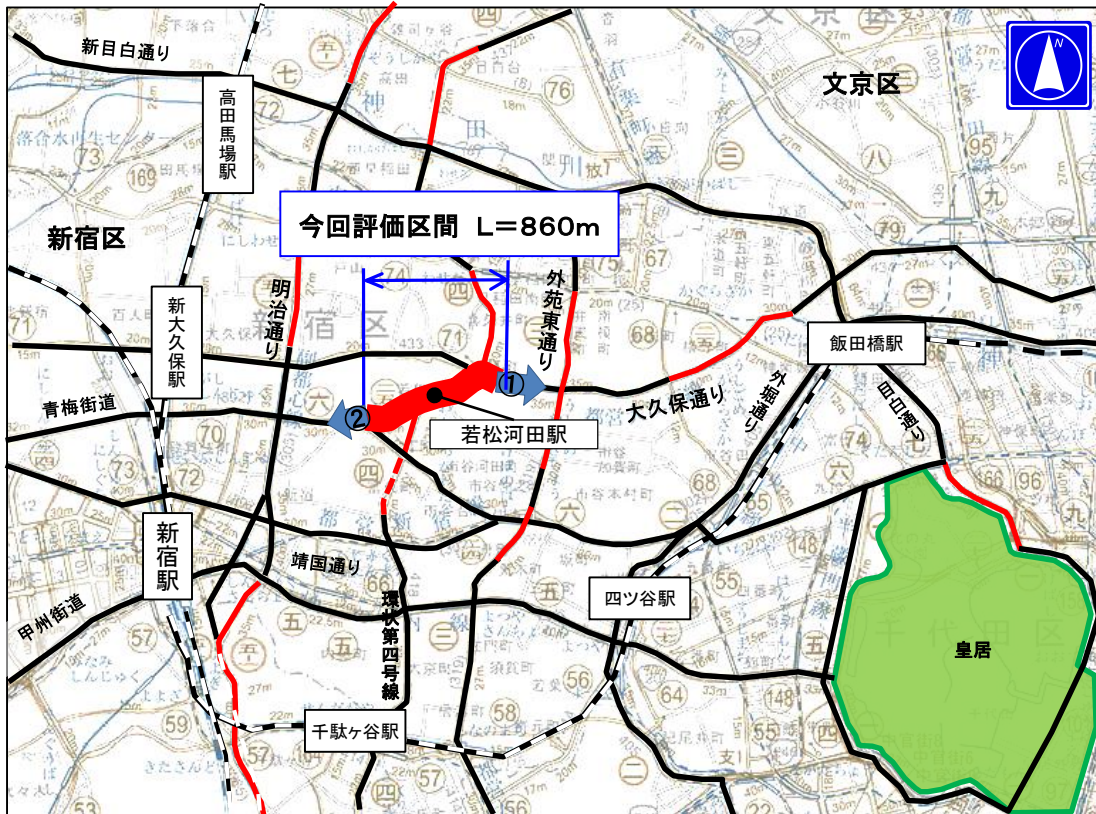
事業費:約197億円

年 度	計 画 等
昭和21年 3月26日	都市計画決定
平成22年10月18日	事業認可取得
令和 9年 3月31日	事業認可期間



# 1. 事業概要(2)

## 今回評価区間周辺の概要



## 事業の効果

- 道路ネットワークが強化されることにより、周辺地域の道路交通の円滑化
- 歩道を拡幅することにより、快適で安全な歩行者空間を創出

## 同一路線の沿道状況

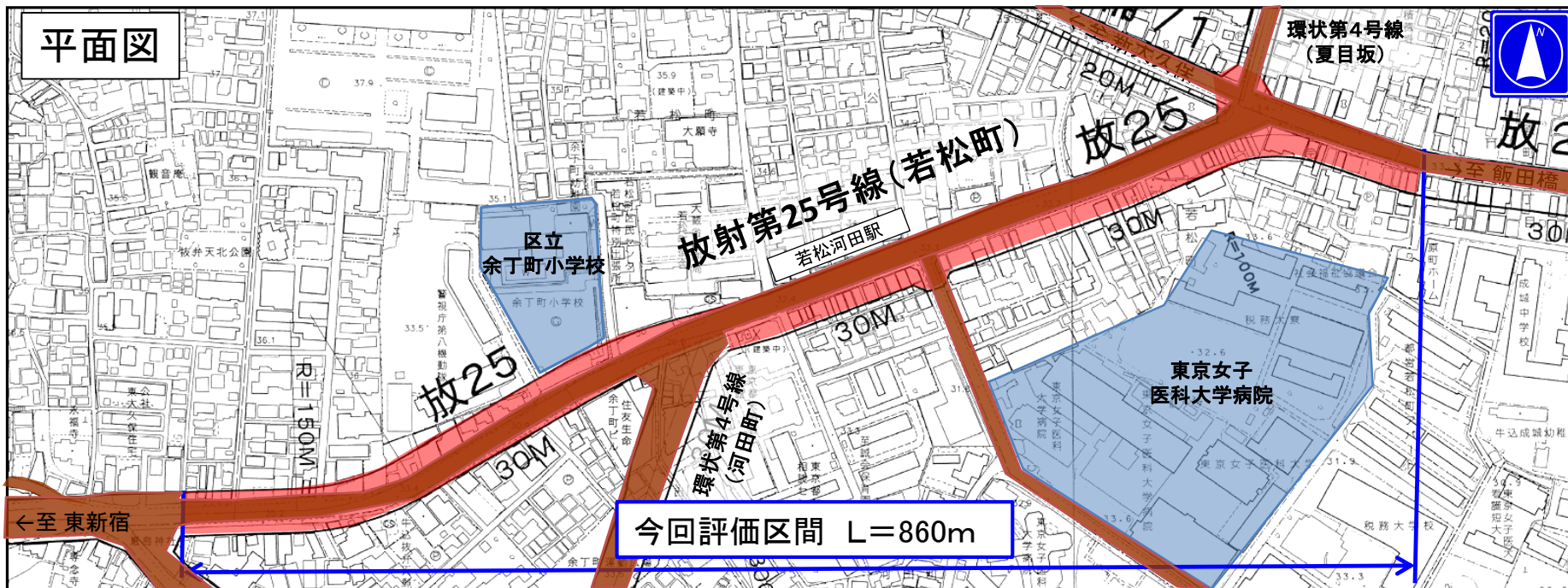
① 飯田橋方面を望む



② 東新宿方面を望む



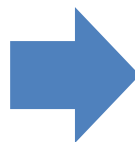
# 1. 事業概要(3)



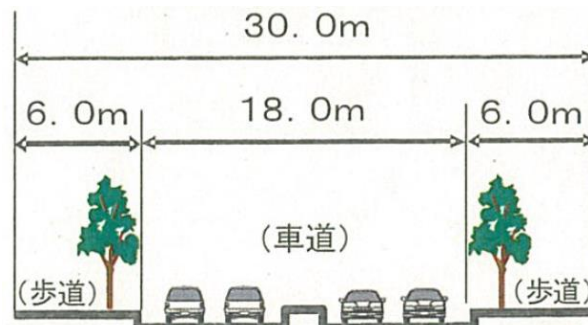
■ 計画道路 ■ 主な現道

## 横断図

現況



計画

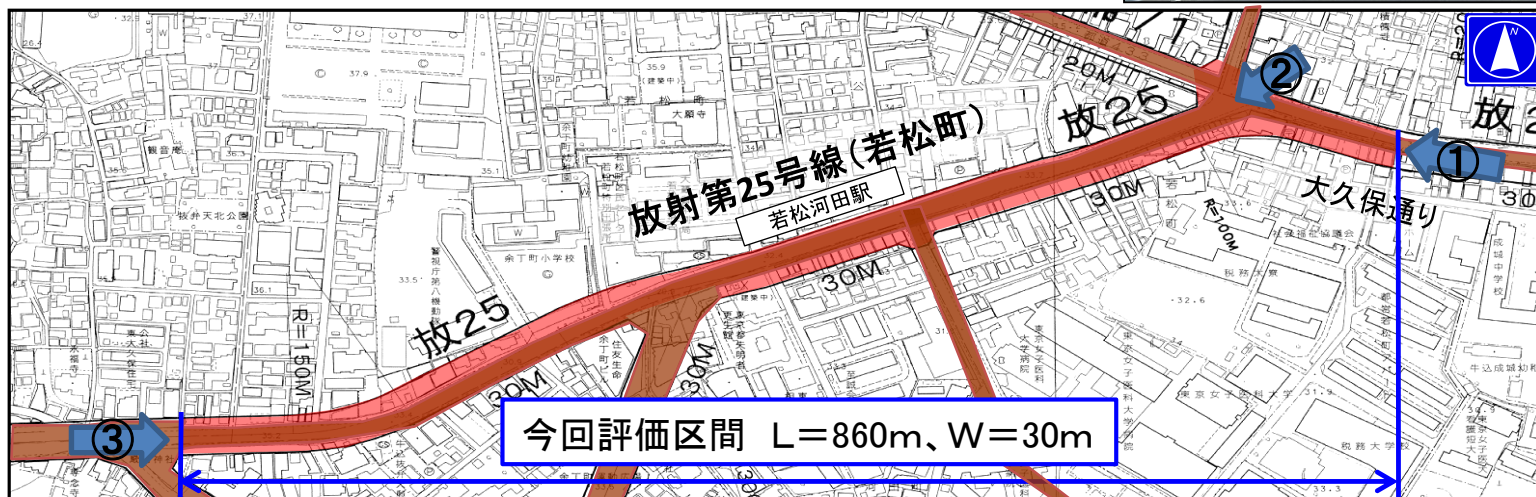


# 1. 事業概要(4)

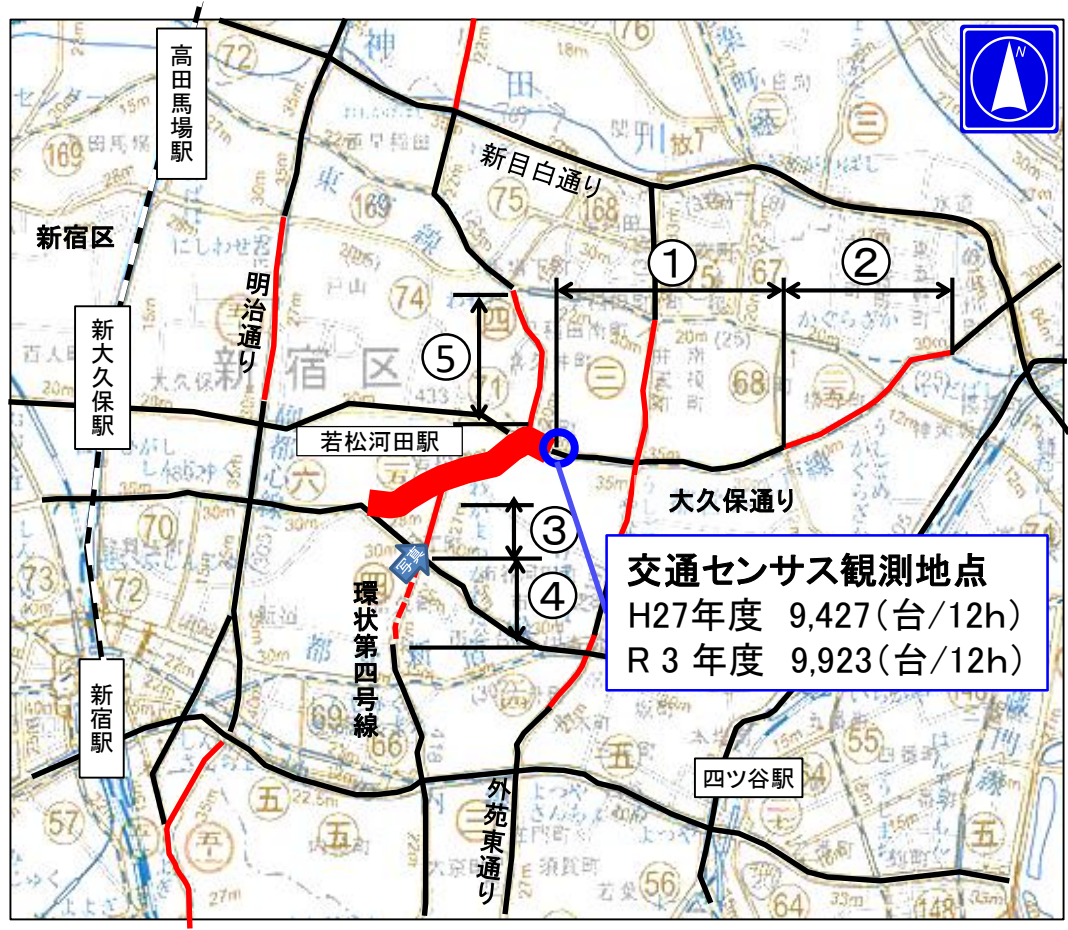
前回



今回



# 2. 社会経済情勢等の変化



## 社会経済情勢の変化

■ 本路線周辺の現況交通量  
 R3年度は、H27年度と比較して横ばい

## 関連する他事業等の進捗状況の変化

	地区	着手	用地	工事
①	放射第25号線 第四次事業化計画	-	-	-
②	放射第25号線 (筑土八幡)	H25年度	35%	未実施
③	環状第4号線 (河田町)	H13年度	100%	実施中
④	環状第4号線 (富久町)	H22年度	88%	実施中
⑤	環状第4号線 (夏目坂)	H29年度	24%	未実施

(令和5年度末時点)



# 3. 事業の投資効果(1)

## 定量的効果

### 【便益(B)の算定】

現在価値化総便益	592.9億円
走行時間短縮便益	527.5億円
走行経費減少便益	64.5億円
交通事故減少便益	0.9億円

### 【費用(C)の算定】

現在価値化総費用額	254.6億円
工事費	13.0億円
用地費	235.0億円
維持管理費	6.6億円

※費用便益分析マニュアル(国土交通省 令和5年12月)に基づき分析

### 【費用便益比(B/C)の算定】

**B/C = 2.3 (前回2.6)**

(参考)社会的割引率2%の場合:B/C=3.8、社会的割引率1%の場合:B/C=5.4

※現在価値算出のための社会的割引率は4%を用い、比較のために参考として2%及び1%として算出した結果を併記する。

なお、参考比較のための値は平成15年(2003年)~令和4年(2022年)の期間の国債の実質利回りを踏まえた1%、及び、平成5年(1993年)~令和4年(2022年)の期間の国債の実質利回りを踏まえた2%としている(公共事業評価に関する技術指針(令和5年9月国土交通省))。



# 3. 事業の投資効果(2)

## 定性的効果

	事項	該当
交通	交通渋滞の解消	○
	物資流動円滑化への寄与	○
	バスの定時性	○
	迂回交通の減少	○
景観	都市景観の向上	○
防災	緊急車両の走行	○
	延焼遮断	○
	災害時の避難路の確保	○
	消防活動困難地域の解消	

	事項	該当
くらし	土地利用の転換・高度化	○
	交通不便地域の解消	
	商業・産業の活性化	○
	公共施設へのアクセス向上	◎
安全	交通事故の減少	○
	バリアフリー化	○
	自転車や歩行者のための空間確保	◎
	その他	

※該当欄の◎は次頁以降に概要あり

# 3. 事業の投資効果(3)

## 定性的効果

<安全> 自転車や歩行者のための空間確保

■本路線を整備することで、快適な歩行者空間の充実が見込まれる。



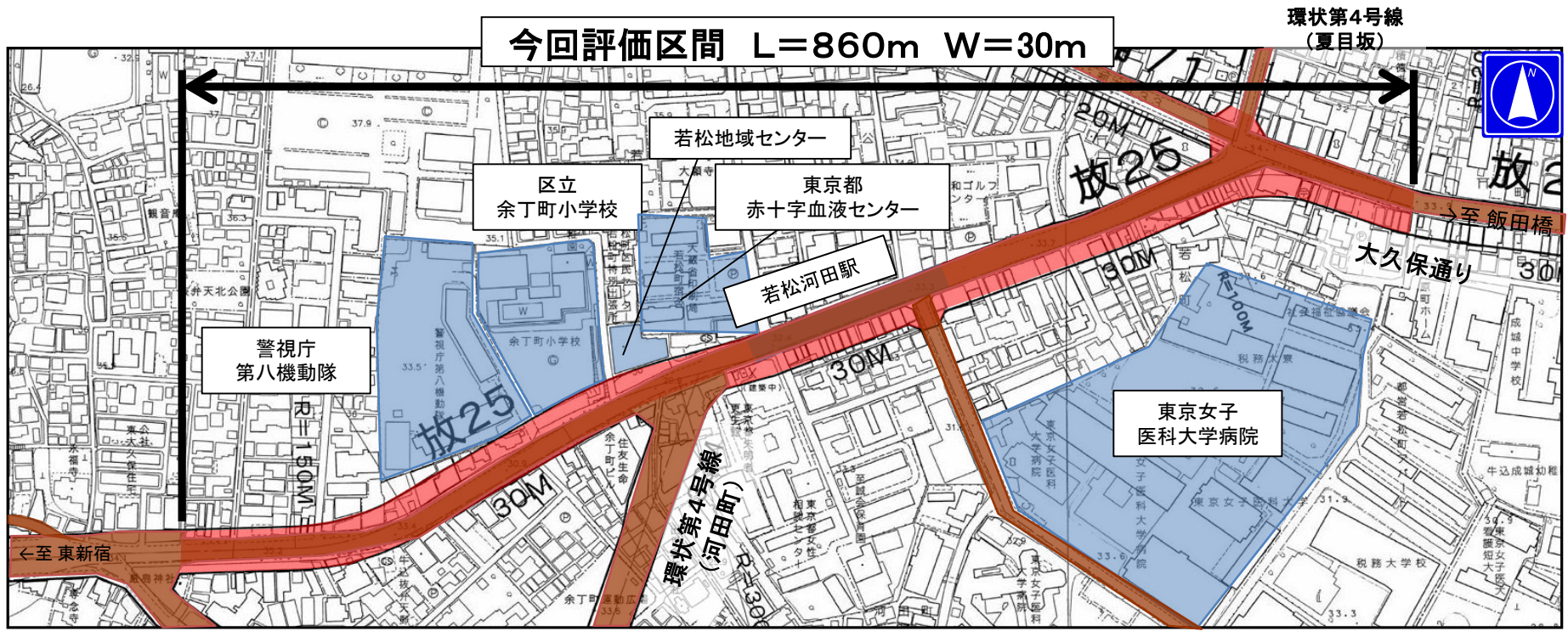
都営大江戸線  
若松河田駅 出入口



# 3. 事業の投資効果(4)

## 定性的効果

<くらし> 公共施設へのアクセス向上  
■ 現道拡幅により、東京女子医科大学病院、東京都赤十字血液センター、若松河田駅などへのアクセス向上が見込まれる。



## 4. 事業の進捗状況(1)

### 事業費の執行状況

(R5年度末時点 カッコ内は前回評価時点)

	用地費	工事費	合計
全体事業費(百万円)	18,754 (18,634)	1,039 (1,020)	19,793 (19,654)
執行済額(百万円)	18,585 (14,628)	133 (73)	18,718 (14,701)
執行率(%)	99.1 (78.5)	12.8 (7.1)	87.4 (74.7)

### 用地取得状況

取得予定面積 (A)	既取得面積 (B)	用地取得率 (B/A)
10,138㎡	8,625㎡ (7,241㎡)	85.1% (71.4%)

## 4. 事業の進捗状況(2)

### 一定期間を要した背景等

- 一部権利者の移転先選定が難航していることや、区分所有建物(マンション)が多数立地していることから、用地折衝に時間を要している。

### 事業の進捗状況・残事業の内容

- 用地は約85%取得済である。  
高低差が生じる箇所については、高低差処理を行っている。
- 街築工事等の着手に向けて、関係機関との協議及び設計を進めている。

# 5. 事業の進捗の見込みの視点

## 事業の実施の目処・進捗の見通し

- 残る未取得用地についても早期取得を目指し、計画的に折衝を進めていく。
- 用地取得状況及び関係機関との協議状況を踏まえて、順次工事に着手していく。



用地取得の状況



高低差処理の様子

# 6. コスト縮減等

## 新工法、事業手法、施設規模等の見直しの可能性

- 一般的な街路築造工事であるため、施工にあたって、新工法、事業手法、施設規模等を見直す可能性は極めて少ない。

## コスト縮減等の取組

- 施工にあたっては、建設発生土の再利用や再生材の使用を行っていく。
- 無電柱化にあたっては、東京都無電柱化計画(R3.6改定)を踏まえ、新材料等を積極的に活用し、コスト縮減に取り組む。
- 中温化アスファルトの原則活用を通じ、二酸化炭素の排出量抑制に繋げる。

【埋設深さの浅層化】	【新たな管路材料の採用】
<p>埋設深さの改定により、土工にかかるコスト縮減や作業時間の短縮を実現</p>	<p>従来の CCVP 管より安価な ECVP 管や施工性も考慮した角形多条電線管への移行</p>

**HTT** TokyoTokyo **低炭素アスファルトとは**

アスファルト混合物

アスファルト + 骨材 + 水蒸気

**通常と比べ製造時の加熱温度を10~30℃下げ、CO2排出量を削減 (-30℃の場合、-2.7 (kg-CO2/t))**

# 7. 対応方針(原案)

(事業の必要性等に関する視点)

- 本区間を整備することにより、周辺地域の道路交通の円滑化が図られる。
- 歩道を拡幅することにより、安全性、快適性が向上する。

(事業の進捗の見込みの視点)

- 用地は約85%取得済であり、残る未取得用地についても早期取得を目指し、計画的に折衝を進めていく。
- 用地取得状況及び関係機関との協議状況を踏まえて、順次工事を実施していく。



## 対応方針(原案) 継続

- 以上から、放射第25号線は、事業の必要性が高く、事業の継続が適切である。
- 中止の場合は、事業効果を発現できないだけでなく、これまでの投資に見合った整備効果も得られなくなる。